

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲医第 1562 号	氏名	田畑 良
審査委員	主査 沼田 周助 副査 岩佐 武 副査 森岡 久尚		

題目 Complementary and alternative medicines chosen for specific health problems: Internet survey using the I-CAM-Q in Japan
A STROBE-compliant cross-sectional study
(種々の健康問題に対して選択された補完代替医療：日本における I-CAM-Q を用いたインターネット調査：STROBE に準拠した横断的研究)

著者 Ryo Tabata, Harutaka Yamaguchi, Yoshihiro Ookura, Kenji Tani
2022年10月14日発行 Medicine 第101巻 第41号 e31098 に
発表済
DOI:10.1097/MD.00000000000031098
(主任教授 谷 憲治)

要旨 補完代替医療 (complementary and alternative medicine; CAM) とは現代西洋医学以外のすべてのものを指す。CAM は全世界で利用されており、その有用性について様々な研究が行われているが、その研究結果は同じ国や地域で行われている場合でも調査方法や質問紙票の内容に影響を受ける。そこで標準化された質問紙票である International Questionnaire to Measure Use of CAM (I-CAM-Q) が開発された。日本ではこれまでに I-CAM-Q を用いた報告が4件みられるが、人々の健康問題と具体的な自助努力の CAM との関係性を調査した報告はみられない。そこで本研究では I-CAM-Q を用いて健康問題に応じ選択した CAM の内容に関する日本におけるアンケート調査を実施した。

調査は e-mail を用いて 20 歳以上の Japan Association of Medical Body Contouring の会員 869 人に送付し、164 人から回答が得られた (回答率 18.9%)。質問紙票の作成に当たっては Google Limited Liability 社の Google Forms のプログラムを使用した。

得られた結果は以下の通りである。

- (1) CAM と特定の健康問題との間にいくつかの関連が明らかになった。筋骨格系に問題のある人、あるいは心臓に問題のある人は湿布を使用する人が多かった。呼吸器系に問題のある人ではヨガ・太極拳・気功を実践している人が多かった。消化器系に問題のある人は、ヨガ・太極拳・気功、あるいはアロマテラピーを行っている人が多かった。神経系に問題のある人はアロマテラピーを行っている人が多かった。消化器系に問題のある人は温泉療法を行っている人が少なかった。皮膚系に問題のある人は運動療法を行っている人が少なかった。
- (2) 健康問題に関しては、医師に相談する割合の方がマッサージ師や鍼灸師、柔道整復師といった他の職種に相談する割合より多かった。
- (3) 健康上の問題を相談することの有用性に関しては、医師よりもマッサージ師、柔道整復師、鍼灸師などの他の職種に対しての方がより有用であると回答する割合が高かった。

以上の結果は、医療従事者が様々な健康問題に対処するための CAM の種類を適切に選択する際の知見となるとともに、健康問題を抱えた人が様々な職種の医療従事者に何を求めているかを知るための手がかりとなる可能性が示唆された。本結果は CAM についての有用な知見を提供しており、その臨床的意義は大きく、学位授与に値すると判定した。